

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年2月3日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870300852		
法人名	池田観光開発 株式会社		
事業所名	グループホーム鶴沼の里	ユニット名	A棟
所在地	〒300-0012 茨城県土浦市神立東2丁目21-22		
自己評価作成日	平成22年7月25日	評価結果 市町村受理日	平成23年1月27日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年9月8日	評価確定日	平成23年1月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

①近くに鶴沼があり、遊歩道を散歩でき、自然と触れ合うことができる。 ②自立支援と明るく家庭的な介護。 ③無農薬の吟味された食材。 ④自宅の延長のようなゆったりとした当り前の生活。
--

「その人らしいあり方、個別ケア、地域の交流」を旨とした理念を掲げ、利用者の個別性を尊重しながら、一人ひとりに寄り添う支援に努めている。 運営者は利用者と家族等との絆を大切に考え、数十年来音信不通となっていた身寄りの者と利用者の再会を支援するなど、きめ細やかなサービスを提供している。 職員は利用者を人生の先輩として尊敬し学ぶべき存在として捉え、「介護する側、される側」という一方的な関係ではなく、互いに支え合う関係を築いている。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者、職員が共に見える所に掲示して、共有するようにしています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、玄関や各ユニットのホール、事務室等に掲示して意識付けをしているほか、朝礼や職員会議などで理念を確認し合い実践に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の時、も挨拶や行事の時に参加して頂いたりして交流を保っています。	自治会へは加入していないが、市民体育祭や祭りなどの地域行事に参加している。 歌やフラダンス、フォークダンスなどのボランティアや、小学生や中学生の体験学習を受け入れ地域との交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生の職場体験等などに利用しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活かしています。回を重ねるごとに入居者様の意見も出て、穏やかな笑顔も見られています。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催するとともに、利用者が10名以上出席し、家族が進行役を行っている。 会議では事業所から利用者の生活の様子や運営状況の報告をしているほか、出席者間で活発な意見交換が行われ、出た意見や助言はサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域密着型の連絡協議会が2ヶ月に1回有り、市役所職員も参加され密に連絡を取り合っています。	2ヶ月に1回地域のコミュニティセンターで開催される連絡協議会で市担当者と情報交換したり、生活保護に関する連絡や手続きをするなど、市担当者と電話や訪問により日常的に交流し協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	生命の危険がある時には、家族からの了解を頂いて一部しています。	管理者や職員は身体拘束の弊害を理解しているが、やむを得ない場合に限り家族等の同意を得て身体拘束を行うとともに随時家族等へ経過を報告しているが、経過観察記録などの書式を整備するまでには至っていない。 玄関は各ユニットの利用者の状態に応じて、施錠したり解錠したりしている。	身体拘束を行った場合の経過観察記録や検討記録を作成するとともに、職員は研修や会議などで問題意識を共有し、身体拘束廃止に向けて取り組むことが望まれる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今の所ないです。資料の回覧を予定し、学習の機会を設けようと考えています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	本社にて対応しています。行なっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	特別にはないと思われるが、運営推進会議や面会時の用紙に要望等を書いて頂けるようにしています。	職員は利用者からは日常のふれ合いの中から、家族等からは来訪時の面会カードや連絡帳を利用して、意見や要望の把握に努めている。 玄関に意見箱を設置しているほか、介護相談員を受入れている。 出た意見等を全職員で話し合い、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回のカンファレンス、全体会議を設けて意見の交換をしています。	管理者は職員が意見や提案をざっくばらんに言える関係を築くとともに、日々の申し送り時や毎月開催される職員会議時に運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、出た意見等は主任会議や全体会議で検討し運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本社対応。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人が自分の休みを使って研修に出ています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	出来ていないです。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを見ながらとか談笑の時など何気ない言葉に耳を傾けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	努めています。	職員は利用者の希望にそって電話や手紙の支援をするほか、馴染みの理・美容室への送迎を支援するなど、利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係継続に努めている。 家族等と連携を図り、利用者が墓参りに行ったり冠婚葬祭に列席できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された家族が、納涼祭に参加したりしています。時折電話も頂いてます。（自分の悩みなど）		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけスタッフ同志、管理者の意見も取り入れ、その人に一番良い方法で暮らせる様努めています。	職員は入居時のアセスメントで利用者の生活歴を把握しているほか、日々の支援の中から得られる情報を付け加えて記録し職員間で共有している。 ボール投げやトランプ、カルタ、塗り絵、書道など利用者がやりたい時にやりたいことができるよう支援しているほか、利用者の意向にそって洗濯物たたみやテーブル拭きなどの役割をもって暮らせるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1回のMTや朝の申し送り等に話し合っています。	介護計画は利用者や家族等の希望を取り入れて6ヶ月に1回定期的に見直すとともに、利用者の心身の状態に変化があった場合はその都度見直し、利用者または家族等の確認を得ている。 3ヶ月に1回モニタリングを行い、短期目標を見直すなど現状に即した介護計画を作成している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月1回のMT等、変化などが見られた時は、申し送り等に話合っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事などにボランティアさんが来て一緒に楽しんでいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に1回看護師に相談しています。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援しているほか、月1回協力医療機関の訪問診療や週1回看護師が来訪し、適切な医療が受けられるよう支援している。 受診結果はその都度家族等へ報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回看護師に相談しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	行なっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族と話し合いを持ち、出来るだけ家族の意見を支援しています。	事業所は看取り介護を行う方針で、「看取りに関する指針」や「同意書」を作成しているが、「同意書」に家族等の署名捺印を得るまでには至っていない。	重度化や終末期に向けた事業所の対応方針を再度協議し、関係者間で統一した見解をもったうえで共有することを期待する。 「看取りに関する指針」に、看取りに関する研修は年1回以上行うことと明記されているので、実施することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	各棟にて勉強しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の避難訓練をしています。	年2回夜間想定を含めた避難訓練を実施し記録しているが、地域の人の参加を得るまでには至っていない。 食糧や飲料水等の備蓄を準備するまでには至っていない。 スプリンクラーは設置済みである。	運営推進会議等を利用して、避難訓練に地域住民の参加を呼びかけるとともに、非常食等を備蓄することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの尊重を大切にしています。	職員は利用者に対する呼び名や言葉遣いなどに気を配り、一人ひとりの尊厳を大切に考え支援している。 個人ファイルは事務室の鍵のかかるロッカーに保管して情報の漏洩に留意しているほか、個人情報の利用に関しては「個人情報提供同意書」に利用者や家族等の署名捺印を得ているが、個人情報保護規程を作成したり利用目的を明示するまでには至っていない。	個人情報の利用目的を具体的に明示したうえで家族等の同意を得ることが望まれる。 管理者は職員が個人情報保護に関して十分理解できるよう、研修への参加に取り組むことを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	起床時、の飲み物を選んで頂いてます。常に声かけして本人の希望を表現しやすい様に心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や休息なども出来るだけ本人のペースで1日を過ごしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔で本人に合った身だしなみができるように心がけています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	嫌いな食材は別のものに変えるなど、食欲が落ちないようにしています。	利用者はそれぞれの能力を活かしながら、食事の準備や後片付けなどを職員と共に行っている。 誕生会や節句などの行事にちなんだメニューや月2回程の外出は利用者の楽しみとなっている。 利用者と職員は同じテーブルを囲み、和やかに会話をしながら食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	飲み込む能力のない人には、ペーストにするなど個々の力に応じて対応し、片寄りがない様心がけています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を決めたトイレ介助の他にその都度、声かけしトイレ介助を行っています。（ソワソワした動きがある）	職員は利用者一人ひとりの生活のリズムや排泄パターンを把握し、時間を見計らって声をかけたり誘導するなどして排泄の自立に向けた支援をしている。 夜間の場合もポータブルトイレの使用やトイレ誘導を行うなど、なるべくおむつを使用しないで済むよう心がけている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録を毎日とり、その都度、食材や処方薬で対応しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	出来るだけ本人の希望に応じられる様に支援しています。その人に合った入浴をしている。	入浴は2日から3日に1回を基本としているが、利用者の希望に応じていつでも入浴できるよう支援をしている。 入浴を拒む利用者へは声かけする職員を替えたり、時間帯をずらすなどの工夫をして入浴できるよう支援している。 足浴や足のマッサージなども利用者の楽しみとなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の体調に応じて支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を職員が把握し、服薬の支援に当たっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の好みに応じて、レクリエーション等を行っています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や月に1回程度のドライブや遠出を支援しています。	職員は利用者が気軽に外気浴ができるよう、天気の良い日は事業所周辺を散歩したり、庭やベランダで食事をしたりお茶が飲めるように支援している。 職員は利用者の希望に応じて洋服や日用雑貨などの買い物に同行し、日常的に外出できるよう支援している。 職員は利用者と一緒に弁当持参で近隣の公園や山に行き、花見や散策などを楽しめるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設内は個人でのお金の持ち込みはできないが、スタッフと買い物にでかけることもあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るさや、温度に気をつけ、清潔に保つようにしています。季節感も出すようにしています。	リビングや廊下などの共用空間はゆったりと広々しており、畳敷きのスペースやソファ、リクライニングチェア等を使って、利用者の居場所づくりをしている。 壁面には利用者が職員と一緒に作った作品や習字、行事を楽しむ写真などが飾られており、家庭的な雰囲気居心地よく過ごせる場所となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各個人が自由に行動できるように心掛けています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族の希望に合わせて工夫しています。	居室の入り口は利用者や家族等の希望を取り入れ、名札を掛けたり、部屋の目印となるよう暖簾や飾りを付けるなどの工夫をしている。 居室にはテレビや鏡台、クローゼット、仏壇、家族等の写真、手作り品など馴染みの品が持ち込まれ、利用者が居心地よく暮らせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に気をつけ、安心して生活できるように、工夫しています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム鶴沼の里

作成日 平成23年1月20日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束を行った場合の経過観察記録や検討記録を作成していない。	利用者の問題意識を共有し、身体拘束廃止に向けて取り組む。	身体拘束を行った場合の経過観察記録を作成し、研修や会議等で問題意識を共有し、取り組み対応する。	経過観察記録はH22年10月作成済み。6ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた事業所の方針を共有できていない。	重度化や終末期に向けた事業所の方針を職員で共有する。	一同集めての研修は難しい為朝の申し送り時や、各棟ごとのカンファレンス時等に行なう。細かい対応については、その都度研修する。	6ヶ月
3	36	個人情報保護規定を作成していない。	個人情報の利用目的を具体的に明示し、職員も十分理解し、取り組む。	個人情報保護に関して、十分理解できるよう研修し、取り組む。個人情報の利用目的を具体的に明示した上で、家族等の同意を得る。	個人情報保護規定はH22年10月作成済み。6ヶ月
4	35	地域の人を巻き込んだ避難訓練が出来ていない。非常時の備蓄が準備できていない。	避難訓練時地域の人を巻き込む。非常食の備蓄を準備する。	地域の方に話を持って行き、お願いする。（ただ、近所の方も皆働いている方が多いので、避難訓練時の参加は難しいと思われるので、何かあった時の協力はお願いする。）本社が冷凍倉庫を持っているので、本社より対応。米・野菜等本社の倉庫に保管してあるので、本社より即対応してもらう。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。